

水遊び空間における水難事故防止のための監視・パトロール活動回数

(1) 背景

東京湾再生推進会議は、東京湾がどのくらい「安心して水遊びができるきれいな海辺」および「心地よくマリレジャーを楽しめる海」なのかを測るのに、「水遊び空間における水難事故防止のための監視・パトロール活動回数」を指標の一つとしています。

沿岸域の安全に対する対策として安全柵などのハード的な対策がありますが、ハード的な対策を強めるほど人々が海に接することが困難になります。そこで近年ではソフトな対策の一つとして「監視やパトロール」が重要とされてきています。しかし、「監視やパトロール」の重要性の認知度はまだ低いのが現状です。

そこで、皆様の活動をもっと広く知ってもらい、その努力を社会的に徐々に浸透させ、「監視やパトロール」の必要性を広め、東京湾の沿岸域が安心して水遊びができる空間になることを期待しています。

つきましては、皆様が実施した「監視やパトロール」の活動を教えて下さい。集計への協力をお願いします。

(2) 対象とする活動

- ① 定点監視
- ② 見回りパトロール

(3) 活動の範囲

東京湾沿岸を対象とします。河口域は、第1橋（最も海側の橋）までとします。

(4) 過年度のデータ

とりまとめた過年度のデータは、東京湾再生のための行動計画（第二期）の中間報告に活用されました。また、パネル（別紙参照）を作成し、東京湾大感謝祭で展示するとともに、東京湾再生官民連携フォーラム HP でも掲載しています。

(http://tbsaisei.com/pt/h29/index_report.html)

(5) 連絡先

ご不明な点は、下記までご連絡下さい。

東京湾再生官民連携フォーラム 事務局 指標活用 PT

e-mail : index_pt@tbsaisei.com

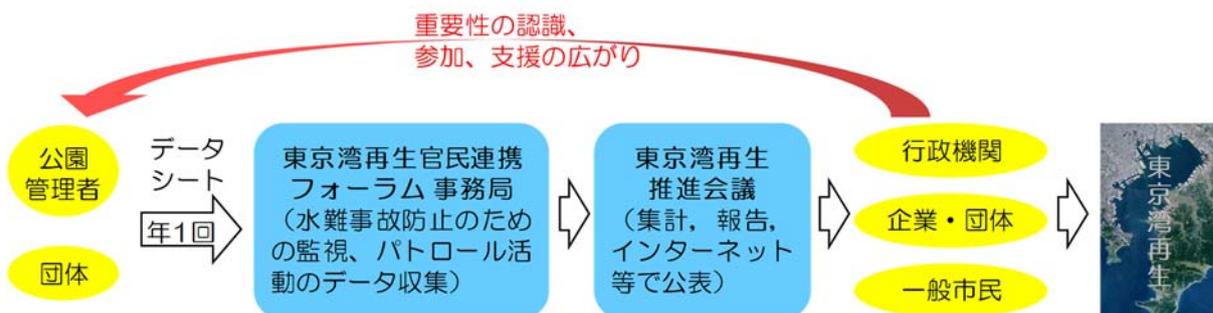


図 東京湾における水難事故防止のための監視・パトロールに関する調査の流れ

水遊び空間における水難事故防止のための 監視・パトロール活動回数

東京湾再生官民連携フォーラム 指標活用PT

快適に水遊びができるきれいな海辺の達成に向けて、「水難事故防止のための監視・パトロール」の重要性をアピールするための指標です。

【集計結果】

陸上からの監視	2箇所
水上パトロール	16日間
水上スポーツ競技会 での監視活動	19日間

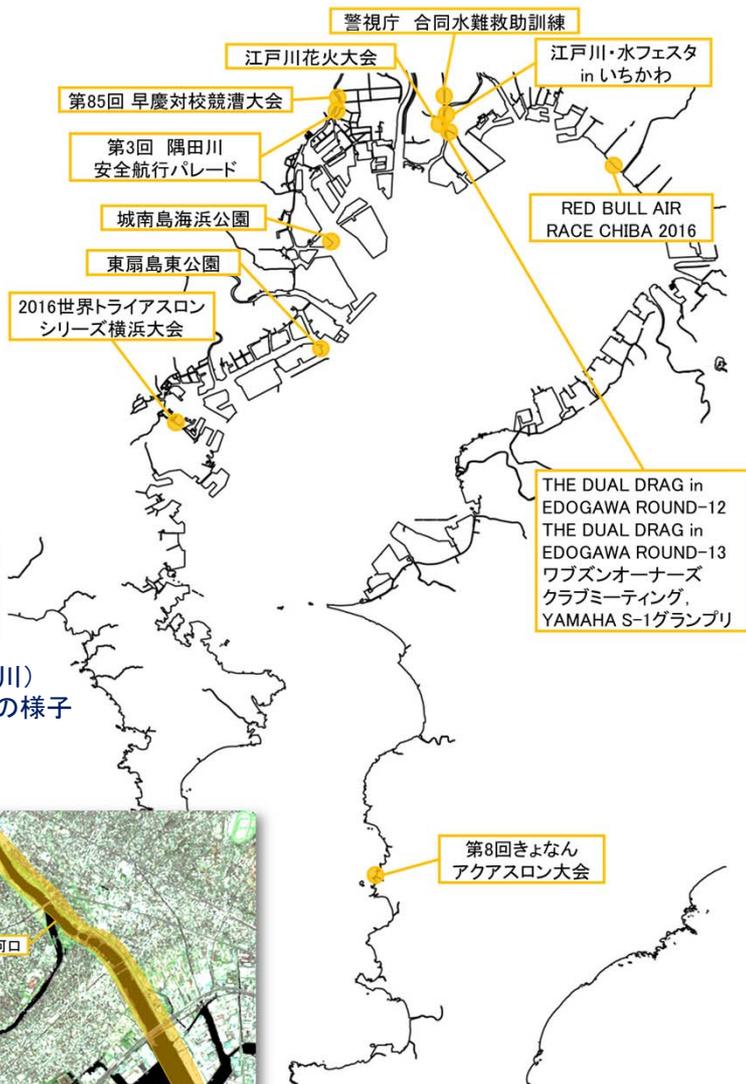


写真: 横浜国際トライアスロン大会



写真: 早慶レガッタ大会(隅田川)
水没事例のレスキューの様子

水上スポーツ競技会での監視活動



東京湾及び接続水路における水上パトロール



写真: 水上パトロールの様子

【回答団体一覧】 (50音順)

- ・ アメニス海上南部地区グループ
- ・ 川崎市港湾局川崎港管理センター港営課
- ・ (一社)ウォーターリスクマネジメント協会

